

令和6年度

川崎市立枳形中学校

教育課程説明会
1年



日時：令和6年4月23日（火）13:05~13:30

場所：多目的室

1. 学校長挨拶
2. 令和6年度の教育課程と評価について
3. 質疑

枅形中の学びについて

○「気づき・考え・行動できる」生徒の育成

枅形中学校では創立当初より JRC に加盟し、その活動目標である「気づき・考え・行動する」を合い言葉にしてきました。そして、21 世紀の今こそ、この言葉の目指すところが求められていると考え、学校生活のあらゆる場面で「気づき・考え・行動する」を意識した学びを実現しようと努めています。さまざまな活動場面では、教員の指示で早く進めるよりも生徒自らの気づきや声かけによって行動を起こす機会を大切に、教科学習でも単なる知識の詰め込みではなく、自ら気づき・考え・判断して行動できる力を育てる学習をめざしています。また、昨年度の校内研修から、今年度は「一人ひとりが輝き自信を持って思いを伝える指導の工夫」をサブテーマに掲げ、始業式や入学式でも大津校長から「気づく力をつける」「失敗を恐れない」というポイントを生徒全体に伝え、教職員もその認識を共有し、生徒たちの自己肯定感を高める指導を目指しています。

○「エネルギー環境学習」をはじめとする総合的な学習 ～ SDGs を意識して…

「エネルギー環境」の学習として、大企業から NPO 法人まで 12 ほどの企業による専門性の高いワークショップを毎年開催し、それを軸に環境や社会への見方・考え方を育てています。この取り組みは市内外からも高く評価されており、これまで環境大臣表彰を始めとする様々な賞を受賞し、昨年度も日本電気協会（電気新聞）主催の「第 14 回エネルギー教育賞」で中学校の部の最優秀賞を受賞しています。また、「福祉・ボランティア学習」では「一人ひとりのボランティア（ひとボラ）」を通して「誰かのために行動することの楽しさ」を生徒に実感してもらいたいと考えています。今年度はさらに、「キャリア在り方生き方教育」の視点や、SDGs の視点を深める教育活動として「見つけよう私の SDGs」をテーマにした学習活動を計画しています。また、このような取組が評価され、令和 3 年度に「かわさき SDGs パートナー」に認定されました。

○自習時間を最小化し、「授業」を大切に

単純に知識を伝達するというよりも、他者との関わりの中で様々な視点に気づいたり深く考えたりする授業の機会を大切にしています。そのためには一つひとつの授業時間が重要になるので、年間を通してほぼ自習時間を作らないように毎週授業調整を行い、毎週末発行の学年通信でお知らせしています。

○ちいさな気づきを生かす「きめ細かな情報共有と連携」

生徒一人ひとりが力を伸ばしていける環境作りや、学校内で生じる問題についての早期対応を徹底するために、学年会や主任会を週間の時間割に組み込んで頻繁に行っています。教員間で日々の情報を共有し、特別支援的な視点からの対応を検討することで、生徒がより良い学校生活を送れるよう努めています。生徒について教員が密に連携を取れるのは、比較的小規模な学校だからこそその「強み」とも言えます。

○OGIGA 端末を活用した学習

令和 2 年度より始まった GIGA スクール構想により、生徒一人ひとりに端末が配付されました。本校におきましても研修を進めながら、子供たちのために活用しているところです。現状においては、授業での調べ学習や発表等に使用しており、個別に学習を進められるツールとして活用しています。

令和6年度の教育課程

1. 時数（週あたり）

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	学活	総合	計
1年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

2. 令和6年度の校内研究主題

『気づき、考え、行動する生徒の育成

～一人ひとりが輝き自信を持って思いを伝え合う指導の工夫～

◎令和6年度の校内研究主題

教科	教科主任	研究テーマ（教科目標）
国語	三浦 寿莉	気づき・考え・表現する力を高める生徒の育成
社会	市川 心	気づき・考え・表現する力を育てる社会科学習指導の研究
数学	南 維儀	数学的な見方・考え方をはたらかせ、学び続ける力の育成
理科	清水 亨	自然の事物・現象について問題を解決する目的意識をもって科学的に問題を追究しながら【気づき】、獲得した知識・技能を問題解決のために活用できる生徒の育成【考え・行動】
音楽	鈴木 桃子	題材で育成を目指す資質・能力を明確にした、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
美術	北潟 美波	見る・考える・表現する力の育成 ～造形活動や鑑賞活動をきっかけに、他者や自己との対話を通して～
保健体育	小原 侑大	体育分野 運動の特性にふれさせながら基礎的な知識及び技能を習得させ、自己や仲間の課題に気づき、解決のために自ら考え行動できる生徒の育成 保健分野 見方・考え方を働かせ、自他の健康に関心をもち、心身の健康を適切に管理し、自ら改善していく実践力の育成
技術・家庭	田中 伸英 川崎 祐子	気づき、考え、表現、行動する力の育成 ～生活の営みに係る見方・考え方をはたらかせた実践的・体験的な授業を通じて～
英語	福元 隆之	英語で伝える力を育む指導の工夫～インプットからアウトプットへ～

3. 基礎・基本の定着と発展・補充にも対応できる学力保障に向けて

① 毎週の時間割調整によって授業時数を有効に活用

- ・学力保障の取組の一つとして、本校では自習時間をつくらないように毎週時間割を調整しています。急な予定変更があっても日常的に授業変更で対応するので、教科担任がつけないことによる自習の時間はほとんど発生しません。

② 1年生英語で少人数制授業の実施。

- ・少人数は1クラスを出席番号で2つに分けて、半数ずつで授業を行う。学習内容(課題)やテスト前の復習、単元のまとめ等の授業では合同で授業を行う(T.T)こともある。

③ 保健体育でTT(チームティーチング)の授業を実施

- ・1・2年生については2クラス同時展開で行う。クラス単位または男女別で授業展開し、3名の教員が指導する。
- ・3年生については2クラス合同で行う。種目別個人選択で授業展開し、2種目に分かれて種目によってTTにて指導する。

④ 基礎学力の定着と生徒への手だて

- ・基礎学力の定着のため、「B」規準への到達のために個々の生徒への手だてを尽くす。
 - 学習相談や長期休業中等に補習や補充のための学習会を実施する。
 - 授業やテストのユニバーサルデザイン化を進める。テストはルビ付きに。
- ※他に、川崎市教育委員会「地域の寺子屋事業」の一環として、まなてら運営委員会が、本校(定期テスト前)、新川町会館(水・金曜日)、長尾こども文化センター(月曜日)を会場に学習支援を行っており、多くの本校生徒が参加しています。

⑤ 支援教育の充実(支援教育コーディネーターを中心に主任会でも定期的に検討)

- ・通常の学級の中にいる支援が必要な生徒に対して「取り出し授業」「入り込み授業」を実施。
- ・学習面やコミュニケーションの課題など、様々な課題に対して随時相談を受け付けています。(まずは担任へご相談ください。)

4. 総合的な学習の時間

①目標「気づき、考え、行動する」を主題として、【環境】・【福祉】・【キャリア、他】についての活動を通して、自己の在り方生き方を探究する学びを行い、課題解決の能力を養い「生きる力」を育み、以下の資質・能力を育成する。

気づく 探究的な学習の課程において、課題の発見に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、そこにある良さや工夫に気づき、課題解決への意欲を高める。

考える 探究的な学習を通じ、課題を解決するために広い視野を持って筋道を立て、考える力を身に付ける。

行動する 探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

② 「見つけよう私のSDG' S ～気づき・考え・行動できる私を育てよう～」

○「環境」「福祉」「キャリア、他」等の学習を通して、SDG s（持続可能な開発目標）と自らの生活のつながりを意識し、大きな視点を持ちながら自己の課題を追及するする力を育てる。

○ガイダンスでSDG sの存在を意識させ、それが自分の生活や具体的な行動目標とどうつながるのか、年間の学習を通して考えていく。→「Think Globally Act Locally」の実践へ

○学習を通して考えた自分の行動目標を（その行事のワークシートの記入欄などで）蓄積し、年間の振り返りに生かす。まとめでは、行動目標から「My SDG s」意識できるようにする。

③時間数：1年は50時間（週1時間+前後期15時間）、2・3年は70時間（週2時間）

(1) 2・3年：火曜日の6校時・金曜日の5校時を総合とし、原則的にはこの時間で実施するが、他の時間や他の曜日にまとめ取りする場合は、振替授業をする。

(2) 1年： 火曜日の6校時を総合とし、さらに他の時間や他の曜日に前後期15時間まとめ取りする。

④総合的な学習の時間 3年間を見通した学習内容

川崎市立柞形中学校 総合的な学習の時間 3年間を見通した計画 Ver.1 2024. 4. 1										
	キャリア学習	福祉学習	環境学習	学年行事						
1年	21世紀に求められる力	4時間	ひとボラ(市制100周年)クラス①・ブロック①	2時間	柞形中の環境学習	1時間	My SDGs設定	1時間		
	金融・経済学習	2時間	共生教育	8時間	ワークショップガイ①・当日②	3時間	総合ガイダンス(4月)	1時間		
	進路学習	5時間			まとめ学習の準備	3時間	●修学旅行の発表会	2時間		
					フォーラム(まとめ学習)クラス①・ブロック①	2時間	自然教室(事前7事後3)	10時間		
							情報モラル	1時間		
	1年計	11時間	1年計	10時間	1年計	9時間	1年計	15時間	45時間	
2年	21世紀に求められる力	7時間	ひとボラ(市制100周年)クラス①・ブロック①	2時間	ワークショップガイ①・当日②	3時間	My SDGs設定	1時間		
	金融・経済学習	2時間	共生教育	8時間	まとめ学習の準備	3時間	総合ガイダンス(4月)	1時間		
	職業調べ③・進路学習⑥	9時間	赤ちゃんふれあい体験②	2時間	フォーラム(まとめ学習)クラス①・ブロック①	2時間	●修学旅行の発表会	2時間		
							校外学習・職業体験6(事前3事後3)	12時間		
							修学旅行に向けて	4時間		
	2年計	18時間	2年計	12時間	2年計	8時間	2年計	20時間	58時間	
3年	21世紀に求められる力	4時間	ひとボラ(市制100周年)クラス①・ブロック①	2時間	ワークショップガイ①・当日②	3時間	My SDGs設定	1時間		
	金融・経済学習	2時間	共生教育	8時間	まとめ学習の準備	3時間	総合ガイダンス(4月)	1時間		
	進路学習	12時間	認知症サポーター(特別時間割)	1時間	フォーラム(まとめ学習)クラス①・ブロック①	2時間	●修学旅行の発表会	2時間		
			命の授業(特別時間割)	2時間			修学旅行(事前6事後4)	10時間		
							薬物乱用防止教室(特別時間割)	1時間		
	3年計	18時間	3年計	13時間	3年計	8時間	3年計	15時間	54時間	
	1～3年 キャリア教育計	47時間	1～3年 福祉学習計	35時間	1～3年 環境学習計	25時間	1～3年 学年行事計	50時間	157時間	

○「21世紀に求められる力」の学習では、エナジード社の教材を活用し、変化の激しい時代の中で、実際に自分から行動を起こせる力を養うことを目指す。

○学年行事等でも「気づき・考え・行動する」を切り口に、自己の在り方生き方を探究する学びとなるよう意識付けを行う。

○エネルギー環境学習の特徴

- ・4月のガイダンスで、総合的な学習の主題とともにエネルギー環境学習のテーマを提示し、1年間をかけてこのテーマを追求していくことを説明。
- ・まとめは「わかったことをまとめる」だけでなく、環境学習のテーマについて自分自身や身近な人や次の新入生に、環境への行動を広げる提言を行う形とする。（伝える相手を想定し、テーマについての知識を伝えると共に、具体的な行動へ移すことを発信できるような形式にする。）

⑤目標達成のために

- 総合的な学習の時間をはじめ、教科、特別活動などあらゆる場面で「気づき・考え・行動する」生徒を育てる機会になる。各担当教員が教科とのつながりを意識して教科横断的に指導する。
- 指導者の意識と姿勢の共通理解…、生徒が「気づき、考え、行動する」ことを促すような指導をめざす。（教員の指示で速く進めるより、生徒が気づき、考えるチャンスを確認）
- 行事などの目標に、「気づき、考え、行動する」の趣旨を生かす。気づき・考えた時に、どのような行動に結びつくのかを目指す生徒の具体的な姿を想定する。
- 行事などの振り返りやワークシートに「気づき、考え、行動する」を意識できる質問を設ける。
- リーダーだけでなく、どの生徒にも「気づき、考え、行動する」場面があるよう配慮する。
- 振り返り用紙の質問項目を共通化し行事や学習を通してどんなことを学び、どんな力が身についたのかを各自が言語化して記録・蓄積できるような振り返りシートにする。
- 日常的に生徒の目に入る場所に総合的な学習の目標を掲示
- 総合のファイルを活用し、成果を3年間蓄積して、自分の学びを振り返るようにする。

⑥評価 通知票の「総合的な学習の時間」の欄に所見を記入する。

※生徒は各学年で作成する振り返り用紙に取り組み状況、感想等を自己評価・まとめとして記入する。

5. 週時程・最終下校・日課時程について

年間予定は学校HPに最新のものを掲載しておりますので、そちらをご確認ください。

【週時程】

	月	火	水	木	金
1	学活			道徳	
2					
3					
4					
5					総合(2・3年)
6		総合			

【最終下校時刻】

4月1日	～	9月18日	18:00
9月19日	～	9月29日	17:45
9月30日	～	10月9日	17:30
10月10日	～	10月21日	17:15
10月22日	～	11月4日	17:00
11月5日	～	1月21日	16:45
1月22日	～	2月5日	17:00
2月6日	～	2月20日	17:15
2月21日	～	3月7日	17:30
3月8日	～	3月25日	17:45
3月26日	～	3月31日	18:00

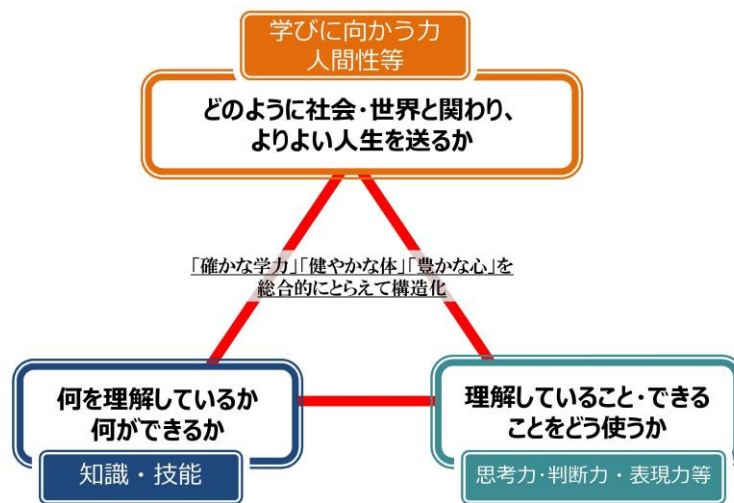
令和6年度 日課時程表 川崎市立柘形中学校 R.6.4.3.現在									
集会S時程		S時程		給食時程	平常時程		集会時程		
開始	終了	開始	終了		開始	終了	開始	終了	
8:25	体育館に整列	8:25	教室で着席	生徒登校	8:25	教室で着席	8:25	体育館に整列	
集会	～ 8:45	8:25	～ 8:35	朝学活	8:25	～ 8:35	集会	～ 8:45	
8:50	～ 9:35	8:40	～ 9:25	1校時	8:40	～ 9:30	8:50	～ 9:40	
9:45	～ 10:30	9:35	～ 10:20	2校時	9:40	～ 10:30	9:50	～ 10:40	
10:40	～ 11:25	10:30	～ 11:15	3校時	10:40	～ 11:30	10:50	～ 11:40	
11:35	～ 12:20	11:25	～ 12:10	4校時	11:40	～ 12:30	11:50	～ 12:40	
12:20	～ 13:00	12:10	～ 12:50	給食	12:30	～ 13:10	12:40	～ 13:20	
13:00	～ 13:20	12:50	～ 13:10	昼休み	13:10	～ 13:30	13:20	～ 13:40	
13:25	～ 14:10	13:15	～ 14:00	5校時	13:35	～ 14:25	13:45	～ 14:35	
14:20	～ 15:05	14:10	～ 14:55	6校時	14:35	～ 15:25	14:45	～ 15:35	
⑤14:15～14:25 ⑥15:10～15:20		⑤14:05～14:15 ⑥15:00～15:10		清掃なしで学活	⑤14:30～14:40 ⑥15:30～15:40		⑤14:40～14:50 ⑥15:40～15:50		
⑤14:15～14:30～14:40 ⑥15:10～15:25～15:35		⑤14:05～14:20～14:35 ⑥15:00～15:15～15:25		清掃&学活	⑤14:30～14:45～14:55 ⑥15:30～15:45～15:55		⑤14:40～14:55～15:05 ⑥15:40～15:55～16:05		
朝会あり45分授業		S時程＝45分授業		⑤＝5時間の日 ⑥＝6時間の日	50分授業		集会あり50分 (1校時以後10分繰下げ)		
弁当持参日 (昼食終了後20分繰上げ)									
12:25	～ 12:40	12:15	～ 12:30	昼食(弁当)	12:35	～ 12:50	12:45	～ 13:00	
12:40	～ 13:00	12:30	～ 12:50	昼休み	12:50	～ 13:10	13:00	～ 13:20	
13:05	～ 13:50	12:55	～ 13:40	5校時	13:15	～ 14:05	13:25	～ 14:15	
14:00	～ 14:45	13:50	～ 14:35	6校時	14:15	～ 15:05	14:25	～ 15:15	
⑤13:55～14:05 ⑥14:50～15:00		⑤13:45～13:55 ⑥14:40～14:50		清掃なしで学活	⑤14:10～14:20 ⑥15:10～15:20		⑤14:20～14:30 ⑥15:20～15:30		
⑤13:55～14:10～14:20 ⑥14:50～15:05～15:15		⑤13:45～14:00～14:10 ⑥14:40～14:55～15:05		清掃&学活	⑤14:10～14:25～14:35 ⑥15:10～15:25～15:35		⑤14:20～14:35～14:45 ⑥15:20～15:35～15:45		

観点別学習評価について

令和3年度から始まった、新学習指導要領では、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」という資質・能力の三つの柱に基づき、各教科等の目標や内容が整理されました。併せて、観点別学習状況の評価の観点についても、この資質・能力の三つの柱に基づく「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理して示されました。

資質・能力の三つの柱

- ・知識及び技能（何を理解しているか、何ができるか）
- ・思考力・判断力・表現力等（理解していること・できることをどう使うか）
- ・学びに向かう力、人間性等（どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか）



学習評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の知識及び技能の習得状況について評価します。 ○それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について思考錯誤するなど、自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。

観点別学習状況の評価から評定への総括の流れ

各教科の学習評価は、学習状況を分析に捉える「観点別学習状況の評価」と、これらを総括的に捉える「評定」の両方について、学習指導要領にさだめる目標に準拠した評価として実施するものとされています。※次ページ参照

<中学校>

【観点別学習状況の評価】

十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの：A[○]

十分満足できると判断されるもの：A

おおむね満足できると判断されるもの：B

努力を要すると判断されるもの：C[○]

一層努力を要すると判断されるもの：C

A[○]=5点, A=4点, B=3点, C[○]=2点, C=1点とする。

組合せの代表例	(合計値)	評定と規準
A [○] A [○] A [○]	(15)	5 十分満足できると判断されるもののうち、 特に程度の高いもの (15点～14点)
A [○] A [○] A	(14)	
A [○] A A	(13)	4 十分満足できると判断されるもの (13点～11点)
A A A	(12)	
A A B	(11)	
A B B	(10)	3 おおむね満足できると判断されるもの (10点～8点)
B B B	(9)	
B B C [○]	(8)	
B C [○] C [○]	(7)	2 努力を要すると判断されるもの (7点～5点)
C [○] C [○] C [○]	(6)	
C [○] C [○] C	(5)	
C [○] C C	(4)	1 一層努力を要すると判断されるもの (4点～3点)
C C C	(3)	

教科学習案内・

年間指導計画

教科ごとの学習目標、費用化の観点と評価方法、具体的な家庭学習の方法が記載されています。参考にしてください。

なお、年間指導計画は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

令和6年度 第1学年 国語科 保護者用学習案内

1. 第1学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を確かなものにすることができるようにする。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。
【評価方法】 発言 ワークシートの記述 小テスト テスト	【評価方法】 発言 ワークシートの記述 スピーチ 作文 テスト	【評価方法】 発言 観察 ワークシートの記述

3. 具体的な家庭学習の方法

- ・漢字ワークを活用し、漢字の学習を日常的に行うようにしましょう。
- ・様々なジャンルの本を読み、読む力や想像する力・考える力を高めましょう。
- ・授業で扱うワークシートや教材を振り返り、自分の考えを深めるようにしましょう。また、必要に応じて自分で調べたことや考えたことをノート、ワークシート等にまとめるようにしましょう。

4. 第1学年 年間指導計画案

	題材名	題材目標	
前期	4月 朝のリレー 野原はうたう 声を届ける	◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	書写(毛筆・硬筆)・音読・1分間スピーチを通年で行います。
	5月 シンジュン	◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。	
	6月 情報を的確に聞き取る 情報整理のレッスン 比較・分類 情報を整理して書こう	◎必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。	
	6月 ダイコンは大きな根? ちょっと立ち止まって	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 ◎文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 ◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる	
	7月 文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう	◎単語の類別について理解することができる。	
	7月 詩の世界 詩を作ろう	◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	
	7月 弁論文	◎自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。	
	9月 大人になれなかった弟たちに… 星の花が降るころに	◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 ◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。	
	10月 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。	
	11月 大阿蘇	◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。	
	12月 いろは歌 蓬菜の玉の枝―「竹取物語」から 今に生きる言葉 故事成語を使って体験文を書こう	◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 ◎古典にはさまざまな種類の作品があることを知るすることができる。 ◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。	
	1月 文法への扉2 言葉の関係を考えよう	◎単語の類別について理解することができる。	

2 月	少年の日の思い出	<p>◎文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。</p> <p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする ことができる。</p> <p>◎各内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構 成や展開を考えることができる。</p>	
3 月	さくらの はなびら	<p>◎比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。</p> <p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするこ とができる。</p>	

令和6年度 第1学年 社会科 保護者用学習案内

1. 第1学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
社会的事象の意義や特色や関連を理解し、調査や資料から有用な情報を効果的に調べまとめる技術を身に付けるようにする。	社会的事象に関わる課題を多面的・多角的に考察し、解決に向けて公正に選択・判断する力や思考・判断したことを説明したり議論したりする力を養う。	社会的事象に対して、課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養い、多面的多角的な考察を通して、国土を愛し、多様な文化を尊重する心を育てる。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会的事象の意義や特色や関連を理解している。調査や資料から有用な情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象に関わる課題を多面的・多角的に考察し、公正に選択・判断し、思考・判断したことを説明・議論することができる。	社会的事象に対して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求・解決しようとしている。
【評価方法】 ・定期テスト ・小テスト ・プリント ・学習課題の内容 など	【評価方法】 ・定期テスト ・プリント ・レポート ・プレゼンテーション など	【評価方法】 ・定期テスト ・小テスト ・プリント ・学習に取り組む態度（聞く・発言する・調べる・考える・話し合う など） ・レポート ・プレゼンテーション など

3. 具体的な家庭学習の方法

- ・小テストの予習を徹底して行う。
- ・学習ワークを活用し、基礎的な知識や語句を覚える。
- ・次回の内容について、教科書や資料集などを読み、予習を行う。
- ・授業で学習した内容を確認し、ノートにまとめ直すことで復習する。
- ・ニュースや新聞などを見て、社会的事象について興味を持つ。

4. 第1学年 年間指導計画案

学期	月	大単元	単元
前期	4	【地理】 世界の様々な地域	<ul style="list-style-type: none"> 世界の姿 世界各地の人々の生活と環境
	5	【歴史】 歴史のとらえ方 原始・古代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> 人類の出現と文明のおこり 日本の成り立ちと倭の王権
	6		<ul style="list-style-type: none"> 大帝国の出現と律令国家の形成 貴族社会の発展
	7	【地理】 世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州
	9	【歴史】 中世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> 武家政治の始まり
10	<ul style="list-style-type: none"> ユーラシアの動きと武家政治の変化 結びつく民衆と下剋上の社会 		
後期	11	【地理】 世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州
	12	【歴史】 近世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> 結びつく世界との出会い
	1		<ul style="list-style-type: none"> 天下統一への歩み 幕藩体制の確立と鎖国 経済の成長と幕政の改革
	2		
	3	【地理】 身近な地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の調査

令和6年度 第1学年 数学科 保護者用学習案内

1. 第1学年の学習目標

知識および技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正の数と負の数，文字を用いた式と一元一次方程式，平面図形と空間図形，比例と反比例，データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数理的に捉えたり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲を拡張し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素や構成の仕方に着目し，図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力，数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし，その特徴を表，式，グラフなどで考察する力，データの分布に着目し，その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり，不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度，多面的に捉え考えようとする態度を養う。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・正の数と負の数，文字を用いた式と一元一次方程式，平面図形と空間図形，比例と反比例，データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数理的に捉えたり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の範囲を拡張し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素や構成の仕方に着目し，図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力，数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし，その特徴を表，式，グラフなどで考察する力，データの分布に着目し，その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり，不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとして，問題解決の過程を振り返って検討しようとして，多面的に捉え考えようとしていたりしている。
【評価方法】・定期テスト ・単元テスト・授業内プリント・小テスト		【評価方法】 ・授業内プリント ・授業内レポート

3. 具体的な家庭学習の方法

- ・自宅に帰宅したら，授業に行った内容を確認する。 ・授業で取り組んだ問題を家で自分の力で解いてみる。
- ・問題集を解いてみる。 ・教科書を見直して，大事なところに色ペンでチェック，気づいたことを教科書に書き込む。
- ・間違えたところはそのままにせず，必ず解き直す。テスト前にはその間違えたところを重点的に復習する。
- ・様々な問題を説明できるようにする。

4. 第1学年 年間指導計画案

学期	月	章	節・小節	学期	月	章	節・小節
前期	4	1章 整数の性質	1節 整数の性質 ①素数と素因数分解 ②素因数分解の活用	後期	10	5章	1節 関数 ①関数
		2章	1節 正の数、負の数 ①符号のついた数 ②数の大小			2節 比例 ①比例の式 ②座標 ③比例のグラフ	
	5	2節 加法と減法 ①乗法 ②減法 ③加法と減法の混じった式の計算	反比例			3節 反比例 ①反比例の式 ②反比例のグラフ	
		3節 乗法と除法 ①乗法 ②除法 ③四則の混じった式の計算				4節 比例と反比例の活用 ①比例と反比例の活用	
	6	4節 正の数、負の数の活用 ①正の数、負の数の活用	11		6章	1節 平面図形の基礎 ①点と直線 ②円	
		3章			1節 文字を使った式 ①文字の使用 ②式の表し方 ③数量の表し方 ④式の値 ⑤式の読みとり	2節 作図 ①基本の作図 ②いろいろな作図	
	7				2節 文字を使った式の計算 ①項と係数 ②1次式の加法、減法 ③1次式と数の乗法、除法	12	平面図形
		3節 文字を使った式の活用 ①文字を使った式の活用			4節 円とおうぎ形の計量 ①円の周の長さと同面積 ②おうぎ形の弧の長さと同面積		
	9	4章	1節 方程式とその解き方 ①方程式とその解 ②等式の性質 ③方程式の解き方 ④いろいろな方程式		1	7章	1節 空間図形の基礎 ①いろいろな立体 ②直線と平面
			方程式				2節 方程式の活用 ①方程式の活用 ②比例式とその活用
10		2節 方程式の活用 ①方程式の活用 ②比例式とその活用		2			8章
	10		2節 方程式の活用 ①方程式の活用 ②比例式とその活用		3	分析データの	
2節 データの活用 ①データの活用							

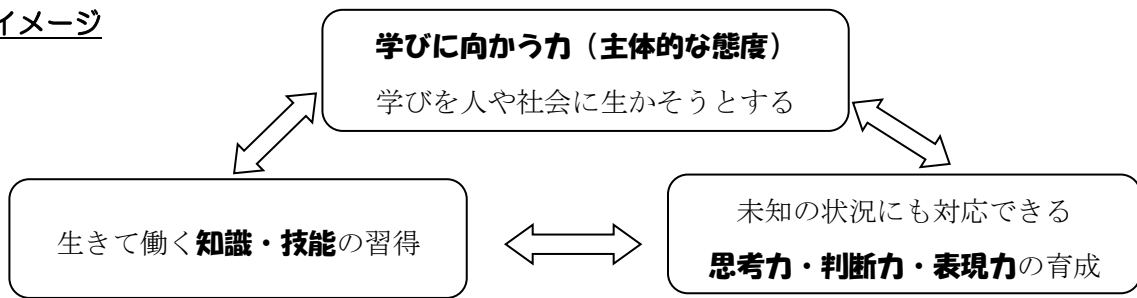
令和6年度 第1学年 理科 保護者用学習案内

1. 学習目標

(1) 知識および技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な金須・実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。	観察・実験などを行い科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物、現象を科学的に解決するために必要な資質能力を育成する。

イメージ



2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見だし表現する力が身につけている	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。また、学んだことを生活に還元し、人と関わりながら粘り強く問題解決しようとする態度が見られる
【評価方法】 ・定期テスト、小テストなど ・観察・実験レポート (グラフや作図、考察含む) ・観察・実験の手順や取り組み ・実験器具の取り扱い・技能	【評価方法】 ・定期テスト、小テストなど ・ノート、レポートの記載内容 ・グラフや図の読み取り、作成	【評価方法】 ・課題への取り組み方 (問題集、夏休み課題、レポート等) ・課題の提出期限を守る姿勢 ・観察・実験への取り組み (粘り強さ、協力、サポート) ・授業参加 (発言・発表)

3. 具体的な家庭学習の方法

- ・教科書、ノートを用いて重要語句の確認をする。(音読、マーカー、ノートにまとめるなど)
- ・観察・実験レポートを見直し、観察・実験を行うときの注意事項、ポイントなどを整理してまとめる。
- ・ネットの活用も1つ視野に入れ、クイズ形式での反復学習、NHKforSchoolやYoutube動画等の視覚的なものを補充教材として活用し、理解を深める。
- ・実際に問題を解く。(問題集を活用。授業でも使用するため毎回持ってくるのが望ましいですが、授業中にすべての問題を行うことはできませんので、家庭の学習用としてもご使用ください。)

4. 第1学年 年間指導計画案

学期	月	指導内容・学習内容
前 期	4	オリエンテーション
		自然の中に生命の営みを見つけてみよう ルーペ・双眼実体顕微鏡・顕微鏡の使い方
		生命 植物のくらしとなかま
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・植物という「いきもの」 ・水や栄養分を運ぶしくみ ・植物のなかま分け ・花のつくりとはたらき ・栄養分をつくるしくみ ・世界最大の花・世界最小の花
	6	【ねらい】身近な植物についての観察・実験を通して、生物の調べ方の基礎を学習するとともに、植物の体のつくりやそのはたらきを理解させ、植物の世界についての総合的な認識を深める。
		エネルギー 光・音・力による現象
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりには、どのようなしくみがかくされているのだろうか ・光による現象 ・音による現象
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・力による現象 ・光・音・力と科学技術
	9	【ねらい】身近で起こる光・音・力によるさまざまな現象を、観察や実験によって解決していくプロセスを通して、これらの性質や規則性について理解させる。
	10	
後 期	10	物質 身のまわりの物質
		<ul style="list-style-type: none"> ・窓に利用されるもの ・いろいろな物質とその性質
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな気体とその性質 ・水溶液の性質 ・物質のすがたとその変化 ・海水から真水をつくる
	12	【ねらい】身のまわりのさまざまな物質に興味・関心をもたせ、物質のもつ基礎的・基本的な性質を理解させるとともに、物質を区別するための実験における基礎的操作や技能を身につけさせる。
	1	地球 活きている地球
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・地球内部の謎にせまる ・大地がゆれる ・大地が火をふく ・大地は語る ・堆積物から過去の津波にせまる
	3	【ねらい】野外観察や実物観察で見たものは、地球史の中で絶えず変化している大地の一瞬の姿であることを実感させ、地球は今も活きているダイナミックな星であることを認識させる。

令和6年度 第1学年 音楽科 保護者用学習案内

1. 第1学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
<p>曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，創作の技能を身に付けるようにする。</p>	<p>音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構成などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて，歌唱，器楽，創作で表している。 	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように表すかについて思いや意図をもったり，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>音や音楽，音楽文化に親しむことができるよう，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>【評価方法】 発言 観察 記述内容 演奏の聴取 作品</p>	<p>【評価方法】 発言 観察 記述内容</p>	<p>【評価方法】 発言 観察 記述内容</p>

3. 具体的な家庭学習の方法

音や音楽、様々な音楽や文化に興味をもち、観たり聴いたりして親しみましょう。その際、気づいたことと、感じたことがどのように関係しているかについて考え、家族や友達とよさや美しさについて意見を共有してみましょう。

4. 第1学年 年間指導計画案

学期	月	題材名 教材	題材目標
前期	4	美しい歌声で合唱しよう 校歌 夢の世界を	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な技能を身に付ける。 ・音楽の要素の働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、知覚・感受したことの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。
	5	情景を想像しながら味わおう 四季より「春」	<ul style="list-style-type: none"> ・弦楽器の音色、弦楽合奏の響き、旋律、形式や構造と曲想との関わりについて理解する。 ・音楽の要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	6	リズムアンサンブルの音楽を楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・音色、テクスチャの違いによる音楽が生み出す雰囲気や表情などの音素材や構成上の特徴について理解しながら、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な技能を身に付ける。
	7	創作作品	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の要素を知覚・感受しながら、その関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。
	8	豊かな響きで表現を工夫しよう 合唱コンクール 自由曲	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 ・音楽の要素を知覚・感受し、その関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。
後期	10	日本の歌曲に親しもう 赤とんぼ 浜辺の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な技能を身に付ける。 ・音楽の要素が生み出す特質や雰囲気を感じながら音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ・歌詞の内容や曲想に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。
	11	歌曲の魅力を味わおう 「魔王」	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律、強弱と曲想との関わりについて理解する。 ・音楽の要素を知覚・感受しながら、その関わりについて考え音楽のよさや美しさを味わって聴く。

期	12	音階の特徴を生かして旋律をつくろう	・音階の特徴や民謡旋律、リズム、音のつながり方の特徴について理解しながら、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な技能を身に付ける。
		ソーラン節 創作作品	・音楽の要素を知覚・感受しながら、その関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。
		1	箏の響きを味わい演奏しよう 虫づくし さくらさくら
	2	日本伝わる箏の音楽を味わおう	・我が国の伝統音楽の特徴と音楽の多様性について理解する。
		さくらさくら変奏曲	・箏の音色や特質を知覚・感受しながらその関わりについて考え、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	3	美しい響きで豊かな曲想表現をしよう	・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しながら、他者と合わせて歌う技能を身に付ける。
		学年合唱曲	・音楽の要素を知覚・感受しながら、その関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。

令和6年度 第1学年 美術科 保護者用学習案内

1. 第1学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく態度を養う。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、楽しく表現および鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、材料、光などの性質や、それらの感情にもたらす効果を理解している。 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 材料や用具などの生かし方などを身に着け、意図に応じて工夫して表している。 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。 	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な攻勢を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。

3. 具体的な家庭学習の方法

- 制作のための材料や用具の準備
- 鑑賞や制作のための資料集めを主体的にする。
- 著作物や他人の制作した作品へのマナーの理解
- 学習した内容に関連した情報番組・教育テレビ等の視聴

4. 第1学年 年間指導計画案

学期	月	題材名	題材目標	教材
前期	4	【オリエンテーション】 中学校美術の世界へようこそ	3年間の学びを見通し、様々な表現活動や色々な作品に出会い、豊かな世界を広げる。	教科書
	5 6	【絵画・デザイン】 色彩の基本・仕組み	色の持つ性質や働きを学び、表現や生活に生かす。	教科書 アクリル絵の具
	7 8 9	【デザイン・鑑賞】 広がる模様の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・自然物の形や色彩の特徴に着目し、美しさを発見し見通しをもって制作する。 ・形や色彩の構成の工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・自然物の特徴を生かしてデザインすることに関心を持ち、意欲的に制作する。 	教科書 アクリル絵の具 造形的資料
後期	10. 11. 12.	【絵画・鑑賞】 屏風、美の仕掛け	<ul style="list-style-type: none"> ・構図、余白。折による奥行き表現などに注目し、その効果を捉える。 ・屏風の表現のよさや美しさ、余白や折などの作者の意図と工夫、美術文化について考え、鑑賞する。 	教科書 アクリル絵の具 糊 色紙
	1 2 3	【立体】 じっくり見ると見えてくる	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、質感などに着目し、何かに見立てたりイメージを捉えたりして粘土や絵の具などを工夫して表す。 ・身近なものの特徴やイメージなどをもとに、形や色彩、質感などを工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・身近なものから捉えた特徴や、イメージなどを工夫して表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。 	粘土 絵の具 資料 教科書 鉛筆

令和6年度 第1学年 保健体育科 保護者用学習案内

1. 第1学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
<p>体育 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。</p> <p>保健 個人生活における健康・安全の関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>	<p>体育 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。</p> <p>保健 個人生活における健康・安全の関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>	<p>体育 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割をなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。</p> <p>保健 個人生活における健康・安全の関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>体育 ○各領域の ・特性や成り立ちを理解している。 ・技術の名称や行い方理解している。 ・関連して高まる体力を高めようとしている。 ・伝統的な考え方を理解している。 ・表現の仕方を理解している。 ・健康・安全に留意している。 ・スポーツの多様性を理解している。 ・運動やスポーツの意義を理解している。 ・運動やスポーツの効果と学び方を理解している。 ・基本的な技能を身に付けることなどを理解している。</p> <p>保健 ○健康な生活と疾病の予防と心身の機能の発達と心の健康について、問題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識として身につける。</p>	<p>体育 ○課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ○基礎的な知識・技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫している。 ○運動の目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫している。 ○課題の発見や解決を通して自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>保健 ○健康な生活と疾病の予防と心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決を目指して科学的に考え、判断し、自らの考えを表そうとする。</p>	<p>体育 ○授業の約束を守っている。 ○積極的に授業に取り組もうとしている。 ○よい演技を認めようとしている。 ○勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ○フェアなプレイを守ろうとしている。 ○相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。 ○互いのよさを認め合おうとしている。 ○分担した役割を果たそうとしている。 ○話し合いに参加しようとしている。 ○最善を尽くして運動をしている。</p> <p>保健 ○健康・安全に気を配っている。 ○健康な生活と疾病の予防と心身の機能の発達と心の健康について、関心や意欲を持ち、主体的に学習に取り組もうとする態度を身につける。</p>
<p>【評価方法】 前期・後期の期末テスト 活動での見とり 技能（ねらいに即した動き） 学習ノート・レポート</p>	<p>【評価方法】 グループ活動 学習ノート・レポート 活動での見とり</p>	<p>【評価方法】 活動での見とり（準備・片付けも含む） 学習ノート・レポート</p>

3. 具体的な家庭学習の方法

- ・教科書・実技本・保健ノートを復習し、基本的な知識を定着させる。
- ・授業で伝えられたねらいやポイントを理解し、実技ノートに書き写し復習する。
- ・指定された部分のレポート作成。

4. 第1学年 年間指導計画案 (教科ごと 任意の形式)

学期	月	題材名	題材目標	教材	
前期	4	保健体育ガイダンス 体づくり運動 体育理論	保健体育の基本的な活動の仕方を理解すること。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート	
		陸上競技 器械運動 保健	陸上競技・器械運動・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート	
	6	陸上競技 器械運動	陸上競技・器械運動・剣道・バスケットボール・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート	
		7			剣道 バスケットボール 保健
	8	剣道 バスケットボール バレーボール ハンドボール 保健	剣道・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート	
		9			バレーボール ハンドボール 保健
	後期	11	バレーボール ハンドボール 保健	バレーボール・ハンドボール・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート
			12		
		1	ソフトボール ダンス 保健	ソフトボール・ダンス・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート
			2		
3		ソフトボール ダンス 保健	ソフトボール・ダンス・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書 保健ノート 実技本 体育ノート	

令和6年度 第1学年 技術科 保護者用学習案内

1. 第1学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，技術を工夫し創造しようとしている。
【評価方法】 筆記試験 作品 作業・実習での見とり	【評価方法】 レポート	【評価方法】 ワークシート レポート

3. 具体的な家庭学習の方法

- ・ワーク（技術・家庭ノート）を復習し基本的な知識を定着させる
- ・授業で配布されたプリント等を復習する
- ・レポートは感想を書くだけでなく、生活や社会の中から技術に 関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し表現するなどして課題を解決しているかどうかが大事です。

4. 第1学年 年間指導計画案

学期	月	題材名	題材目標	教材
前期	4	技術ガイダンス	技術の見方・考え方に気付くことができる。	教科書 ワーク
	5	木材・金属・プラスチックについて	材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている	教科書 ワーク
	6	製図 加工法の基礎	製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができること。	教科書 ワーク
	7	木工作品の製作	問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。	木材キット
9	木工作品の製作			
10	木工作品の製作			
後期	11	木工作品の製作		
	12	まとめレポート	問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	ワークシート
	1			
	2	生物育成 スプラウトの栽培	育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。	教科書 ワーク
	3	まとめレポート	生物育成の技術を評価し適切な選択、管理・運用の在り方について提言をまとめることができる。	ワークシート

1, 第1学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
<p>家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。</p>	<p>家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p>	<p>自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>

2, 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。</p>	<p>これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p>	<p>家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆記試験 ・ 作品 ・ 作業や実習での見取り 	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レポート 	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ レポート

3, 具体的な家庭学習の方法

- ・ 授業内容を振り返り、基本的な知識を定着させる。
- ・ 授業内で配布されたプリントの復習

- ・レポートは感想を書くだけでなく、生活や社会の中から家庭生活に関わる問題を見だし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決しているかどうか大切です。
- ・提出日を守りましょう。

4, 第1学年 年間指導計画案

学期	月	題材名	題材目標	教材
前期	4	ガイダンス	家庭科の見方・考え方に気づくことができる。	教科書
	5	・家族・家庭と地域		
前期	6	<私たちの衣生活> ・衣服の選択と手入れ ・生活を豊かにするために バッグ制作	・目的に応じた着用や個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について考える。 ・布の性質や選択方法を知り、快適な衣生活が送れるように考える。 ・基本的な用具の使い方を知り、安全に使用する。 ・基本的な縫い方を知り、作品を仕上げようとする。 ・用途を考え、課題を見だし、設計を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考える。	教科書 プリント
	7			
	8			
	9			
	10			
	10			
後期	11	<私たちの消費生活と環境> ・私たちの消費生活 ・責任ある消費者になるために	・購入方法や支払い方法の特徴を知り、計画的な金銭管理の必要性を考える。 ・契約や消費者被害について知り、必要な情報やサービスの収集・整理の方法を考える。 ・消費者の権利と責任について理解し、生活に役立てようとする。	
	12			
	1	<私たちの住生活> ・住まいの役割と安全な住まい	・家族の生活と住空間の役割を考え、住居の基本的な機能を理解する。 ・安全で快適な住空間の整え方を考え、実践を評価改善使用とする。 ・災害防止について多面的に考えた上で、災害時に実践できることを具体的に考える。 ・高齢者が安心して生活できる条件や工夫を考える。	
	2			
	3			

令和6年度 第1学年 英語科 保護者用学習案内

1. 第1学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【知識】英語の特徴やきまりに関することを理解している。</p> <p>【技能】日常的な会話について、はっきりと話されたり、簡単な語句や文で書かれたりするものから必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりすることができる。また関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、話したり、正確に書くことができる。</p>	<p>【話すこと・書くこと】</p> <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、話したり、書いている。</p> <p>【聞くこと・読むこと】</p> <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、必要な情報や要点などを捉えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手や書き手、聞き手に配慮しながら主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取り組みに関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的に捉えている。
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 小テスト（単語テスト、音読テストなど） 	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期テスト パフォーマンステスト（会話、スピーチ、発表、英作文など） 	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業、言語活動への取り組み状況 パフォーマンステスト（会話、スピーチ、発表、英作文など）

3. 具体的な家庭学習の方法

- 授業で学習した単元の単語や本文をノートに書く。
- 教科書の音読練習を繰り返し、単語練習や基本文練習に積極的に取り組む。

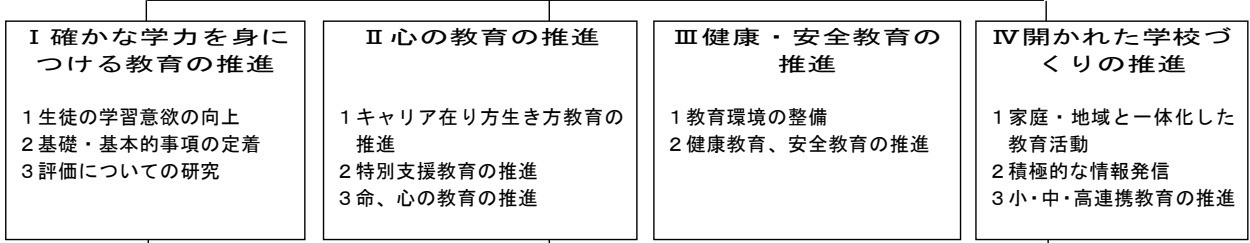
- ・ワークブックなどを用いて問題を解く。
- ・プリントを復習する。(宿題に取り組む。)

4. 第1学年 年間指導計画案

学期	月	単元名	学習内容	題材目標
前期	4	Unit 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ I'm～. ・ I don't like～. ・ I can/can't～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会話から、その人の情報を聞き取ることができる。 ・ 自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。
	5	Unit 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ Are you～? ・ Do you ～? ・ Can you ～? 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会話から好みや得意なことなどを聞き取ることができる。
	6	Unit 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ what do you～? の構文 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インタビューから、したいことなどを聞き取ることができる。
	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ 動詞の-ing 形 ・ want to ～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みにしたいことについて、アンケートを取ることができる。
	9	Unit 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 人称単を主語とする be 動詞の文 ・ Who's ～? の構文 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人物紹介から、基本的な情報を聞き取ることができる。 ・ 身近な人などについて、基本的な情報を紹介することができる。
後期	10			
	11	Unit 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ where や when で始まる疑問文や命令文 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。 ・ お気に入りの学校内の施設について、たずね合うことができる。
	12	Unit 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 人称単数を主語とする一般動詞を使った肯定文・疑問文・否定文 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介文から、その人物がだれかを読み取ることができる。 ・ 身近な人の基本的な情報を伝える紹介文を書くことができる。
	1	Unit 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文や be 動詞の過去形 	<ul style="list-style-type: none"> ・ はがきから、出来事や感想などを読み取ることができる。 ・ 冬休みの出来事や感想などを伝えるはがきを書くことができる。
	2			
	3	Unit 8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在進行形の肯定文、疑問文と look + 形容詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真の説明から、その場の状況を聞き取ることができる。 ・ 写真に状況を説明するキャプションを書くことができる。

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校の教育目標
 新しい時代を創造するための教養を身につけさせ、心身ともに健全で調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。
 (1) 学力を高め、自ら考え正しい判断ができる人 (知)
 (2) 美しい豊かな心を持ち、思いやりがあり、助け合える人 (情)
 (3) 責任を重んじ、実行力のある人 (意)
 (4) 体力を高め、健康で自分を大切にすること (体)



道徳教育の研究主題
 互いを認め合い、気づき・考え・行動する生徒の育成

道徳教育の重点目標
 「生徒につけたい力」を身につけさせるための指導の充実を図る。

A- (2) 望ましい生活習慣	A- (1) 自主・自立の精神・責任感	B- (7) 礼儀の意義の理解
B- (6) 人間愛と思いやりの心	B- (9) 自他の尊重・謙虚な心	D- (19) 生命の尊重
D- (20) 自然愛、畏敬の念	A- (4) 人間の弱さ、生きる喜び	C- (10) 法のきまり
C- (3) 正義感・公正・公平	C- (15) 集団生活の向上・役割と責任	

学年の目標			
<p>1年</p> <p>① 充実した中学校生活を送るために、集団でのマナーやルールを身につけ、正しい生活習慣を定着させる。 ② 自ら気づき、考え、正しい判断力をもって行動し、他人を思いやる心を育てる。 ③ 諸活動に意欲的に参加させ、自己の力を伸ばし、発揮できるように支援する。 ④ 目標をもちながら学習だけでなく学校生活全般において全力を尽くす生徒を育てる。</p>	<p>2年</p> <p>① 充実した中学校生活を送るために、集団でのマナーやルールを身につけ、基本的な生活習慣を定着させる。 ② 自ら考え、正しい判断力をもって行動し、他人を思いやる心を育てる。 ③ いろいろな活動に意欲的に参加させ、自己の力を伸ばし、発揮できるように支援する。</p>	<p>3年</p> <p>① 基礎基本を定着させ、自ら学ぼうとする力を育成する。 ② 思いやりのある人間関係を創造するためのコミュニケーション力を養う。 ③ 基本的な生活習慣と食習慣を身に付け、体力を向上させ健康に生きる。 ④ 最高学年としての自覚を持ち、後輩の手本となるような態度を養う</p>	<p>特別支援学級</p> <p>健康・安全で自立した生活を営むために必要な日常生活習慣を養い、その能力を十分に発揮するため、心身諸機能の調和的発達を図る。</p>

学級経営

教科

国語 気づき・考え・表現する力を高める授業づくり
 社会 気づき・考え・表現する力を育てる社会科学習指導の研究
 数学 数学的な見方・考え方をはたらかせ、学び続ける力の育成
 理科 身近な事物・現象と、生活のつながり・問題に気づき、先を見通した考えや判断のもと、学びを人や社会に生かそうと表現・行動できる生徒の育成
 音楽 音楽的な見方・考え方を働かせる学習活動
 美術 見る・考える・表現する力の育成
 ～造形活動や鑑賞活動をきっかけに、他者や自己との対話を通して～
 保健
 体育分野 運動の特性にふれさせながら基礎的な知識及び技能を習得させ、自己や仲間の課題に気づき、解決のために自ら考え行動できる生徒の育成
 保健分野 見方・考え方を働かせ、自他の健康に関心をもち、心身の健康を適切に管理し、自ら改善していく実践力の育成
 技家 気づき、考え、表現、行動する力の育成
 ～生活の営みに係る見方・考え方をはたらかせた実践的・体験的な授業を通して～
 外国語 英語で伝える力を育む指導の工夫～インプットからアウトプットへ～

総合的な学習の時間
 「気づき・考え・行動する」を主題とし、【環境】・【福祉】・【キャリア、他】についての活動を通して、自己の在り方生き方を探究する学びを行い、課題解決の能力を養い「生きる力」を育む。

特別活動
 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

道徳の時間

- ・全教育活動における道徳的教育を補充・深化・統合して、生徒の道徳性の育成を図る。
- ・話し合いの活動を充実させ、資料によって様々な人間の生き方を考えさせ、それへの共感、批判を通して道徳的な物の考え方、感じ方を高め、自ら生き方の自覚を深める。

家庭・地域との連携

- ① 広報活動の充実
 - ・学校便りの充実、学年便りの定期的な発行と充実に努める。
 - ・ホームページの定期的な更新に努める。
- ② 保護者、地域との連携、誠実な対応
 - ・外来者への誠実な対応に心がける。
 - ・学校と家庭との迅速な連携に努め、相互理解を深める。
 - ・地域活動への生徒や教職員の参加を積極的に行う。
- ③ 近隣小学校、高校との連携の工夫と充実
 - ・学校説明会等のいっそうの充実をはかる。
 - ・時期と内容の検討を行う。
 - ・学習ボランティア活用を検討する。
- ④ 学校評価の実施と活用

令和6年度 第1学年 道徳年間指導計画表			※前期終わりと後期終わりに振り返りをします。	
月	教材名	学習指導要領との関連	主題名	ねらい
4	1 掃除の神様が教えてくれたこと	勤労	働く喜びと充実した生き方の追求	「働く意義」を理解し、働く喜びに気づき、充実した生き方につなげようとする態度を養う。
	4 うわさで決めるの？	公正、公平、社会正義	公正に考えよう	周りの人たちの噂や、不確実な情報を論議みせず、自分の頭で考え、真実を見つける判断力を育てる。
	8 バスと赤ちゃん	思いやり、感謝	相手の立場に立った支え合い	心こもった言葉には温かい交流をつくる力があることに気づき、支え合い働き合い思いやりの心情を育てる。
5	6 釣りざおの思い出	節度、節制	約束や時間を守る	甘い考えによる、軽はずみな行動の悪さを理解し、節度ある生活を送ろうとする判断力を育てる。
	12 いっぱい生きる 全盲の中学校教師	よりよく生きる喜び	希望をもち、前向きに生きる	困難や挫折を乗り越え、人間としての誇りをもって、前向きに生きようとする意欲を高める。
	9 裏庭での出来事	自主、自律、自由と責任	誠実な生き方	責任ある行動とは自ら考え、判断し、実行することであることに気づき、自ら判断できる力を育てる。
6	21 ふと目の前に 森繁久彌	相互理解、寛容	相手の心を広く受けとめる	それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容な心をもち、謙虚に他人と向き合う心情を育てる。
	15 オーストリアのマス川	道法精神、公德心	きまりを守るということ	自他の権利を大切にしながら法やきまりの意義を理解し、法を守る責任や義務を果たすことで健全な社会が成立することに気づき、場面に応じきまりを守ろうとする判断力を育てる。
	27 日本の心と技	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	世界の中での日本文化のすばらしさ	日本の伝統文化の良さを多面的に捉え、日本の伝統文化を深め伝えようとする態度を養う。
	23 公平とはなんだろう	公正、公平、社会正義	誰にとっても公平な社会	公平な社会を作るために、物事の是非を見極め、積極的に差別や偏見をなくしようとする態度を養う。
7	13 真の国際人 斎藤治五郎	国際理解、国際貢献	自らの役割を果たす日本人	世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野を持って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする心情を育てる。
	3 挨拶しますか、しませんか	礼儀	場に応じた挨拶	様々な環境における挨拶の意義を考え、よりよい挨拶ができる態度を養う。
	20 町内会デビュー	社会参画、公共の精神	望ましい地域社会	地域の一員としての自覚をもち、住みよい地域社会の実現を目指そうとする実践意欲を高める。
9	10 壊れた掲示板	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土や地域を愛するとは	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、地域に住む人々とともに郷土の発展に努めようとする心情を育てる。
	5 あるピエロの物語	友情、信頼	信頼と敬意を支えられた友情	友情は互いの信頼のうえに成り立つこと、相手に対する敬意の念をもち続けることが大切であることを理解し、友情を培うために自分はどうあるべきかについて判断することができるよう育てる。
	26 クラスメイト	友情、信頼	相手のよさを認め合う	実性間においても、同性間と同様に相手のもの見方や考え方を理解し、互いに相手のよさを認め合おうとする態度を養う。
10	11 本の世界よ、みんなに届け 村岡花子	希望と勇氣、克己と強い意志	理想を求めて	理想や目標を達成しようとする強い意志の大切さに気づき、次のより高い目標に向かって努力しようとする実践意欲を高める。
	31 傘の下	道法精神、公德心	公徳を大切にすること	社会の中で守るべき正しい道として公徳の意義を理解し、住みよい社会を実現しようとする判断力を育てる。
	19 たとえ僕に明日はなくても	生命の尊さ	輝かせる命	生きることの尊さ・素晴らしさに気づき、かけがえのない生命を輝かせようとする実践意欲を高める。
	14 ネット将棋	自主、自律、自由と責任	自分の行動に責任を	自ら選択したどんな小さな行為にも責任があることを認識し、望ましい行動を選択する判断力を育てる。
11	18 金色の稲穂	思いやり、感謝	人の善意に感謝する心	物事がうまくいかないうちに他人や仕事のせいしがちな自分を戒め、多くの人の善意や支えで今の生活があることに感謝し、それに応じようとする心情を育てる。
	30 吾一と京造	友情、信頼	友情を深めるために	友情のあり方について様々な角度から考えを深め、より一層深い友情を構築しようとする態度を養う。
	7 黒い弁当	家族愛、家庭生活の充実	かけがえのない家族	成長を願う深い愛情で育てられていることに気づき、父母や祖父母に対する感謝や敬意の心情を育てる。
12	34 捨て犬・未来	生命の尊さ	尊い命	生きることの素晴らしさに気づき、生きとし生けるものの生命を大切にしようとする心情を育てる。
	2 あなたに	生命の尊さ	かけがえのない生命	生きて今ここにいることの不思議さや生命の連続性に気づき、かけがえのない存在であることに誇りをもち、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。
	24 自然の懐に抱かれて	感動、畏敬の念	自然の美しさに感動する心	自然の美しさに感動する心をもち、自然と共存することで人生をより豊かなものにしていこうとする態度を養う。
1	17 日曜日の朝に	節度、節制	心の弱さを乗り越える	自分の軽はずみな行動が招く危険や周りへの迷惑に対して、十分配慮し、節度をわきまようとする判断力を育てる。
	22 ネパールのビール	よりよく生きる喜び	誠意ある行為の美しさ	人間の誠意ある生き方や良心の高さに感動し、人間として誇りをもって生きようとする心情を育てる。
	32 ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦	よりよい学校生活、集団生活の充実	役割を果たす	自分の果たすべき役割を自覚し、目指す目的に向かって、互いに協力し合い、励ましあえる集団生活の実現に努めていこうとする態度を養う。
2	35 エルトゥールル号の遭難	国際理解、国際貢献	人類の発展に貢献する	日本人としての誇りをもって、同じ人間として尊重しあい、世界の平和と人類の発展に貢献する実践意欲を高める。
	29 イチローの軌跡	向上心、個性の伸張	夢の実現	夢や希望、目標に向かって努力を惜しまず、自分の力を最大限に発揮しようとする態度を養う。
	29 認められたクラブ	希望と勇氣、克己と強い意志	続ける努力	高い理想を求め、実現しようという志をもち、自分を甘やかさず努力を継続しようとする態度を養う。
3	25 伝統を伝説に	よりよい学校生活、集団生活の充実	仲間と共に	部活動や学級、学校の一員としてお互いに支え合っていることに気づき、教師や学校を敬愛し、協力してよりよい校園を築き上げようとする態度を養う。
	16 トキのいる里をも一度	自然愛護	自然との共生	身近な自然の大切さに気づき、人間と自然のつながりを見いだしながら、自然を守り、共に生きようとする心情を育てる。
	33 ゲームから広がる可能性	真理の探究、創造	新たな可能性を求めて	自由な発想で新しい考えや方法を生み出し、積極的に新しい分野を切り開こうと探求し、創造しようとする心情を育てる。

川崎市立枳形中学校 令和6年度特別活動全体計画

※全体計画例
 ◆学校教育目標 ◆特別活動の重点目標 ◆学校行事
 ◆各種委員会 ◆学級活動 (1×2×3) 年間回数 等

◆教育基本法
◆学校教育法
◆学習指導要領
◆かわさき教育プラン

学校教育目標

新しい時代を創造するための教養を身につけさせ、心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

(知)：①学力を高め、自ら考え正しい判断ができる人
(情)：②美しい豊かな心を持ち、思いやりがあり助け合える人
(意)：③責任を重んじ、実行力のある人
(体)：④体力を高め、健康で自分を大切にできる人

○生徒の実態
○地域の実態
○保護者の願い
○教師の願い

枳形中学校としてのキャリア在り方生き方教育

各教科	道徳科	総合的な学習の時間	特別活動	共生・共有	生徒指導	その他教育活動
-----	-----	-----------	-------------	-------	------	---------

第1目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を磨かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1) 多様な価値観と協調する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、意思決定し実行することができるようにする。
 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

特別活動の重点目標

気づき・考え・行動できる生徒を育成する。

学級活動	生徒会活動	学校行事
<p>目標 学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力しあう。学級での話し合いを通して自己の課題の解決及び将来の生き方を考えるために意思決定して実践したりすることに自主的、実践的に取り組むことを通じて、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>内容 (1)学級や学校における生活づくりへの参画 ア 学級や学校における生活づくりの課題の解決 イ 学級内の組織づくりや役割の自覚 ウ 学校における多様な価値観の生活の向上 (2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成 イ 男女相互の理解と協力 ウ 思春期の不安や悩みへの解決、性的な発達への対応 エ 心身ともに健康で安全な生活環境や習慣の形成 オ 食育の推進や部活・学校祭とつながり深い食育の形成 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 ア 社会生活、職業生活の理解を踏まえ主体的に学習意欲の育成と学校生活の充実 イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成 ウ 主体的な進路の選択と将来設計</p> <p>活動の形態例 話し合い活動 係活動 集会活動</p>	<p>目標 異なる年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための課題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通じて、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>内容 (1)生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。 (2)学校行事への協力 学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすること。 (3)ボランテア活動などの社会参画 地域や社会の課題を見出し、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。</p> <p>生徒会の組織例 ○生徒総会 ○生徒評議会 (中央委員会等) ○生徒会役員会 (生徒会執行部) ○各種委員会</p> <p>◆各種委員会は、毎月定例会を実施する。 以下の委員会を設け、各学級2名の代表で構成する。 学級・広聴・図書・省エネ環境 生活・福祉・健康・視聴覚・給食</p> <p>◆評議会(代表委員会)は、毎月定例会を実施する。</p>	<p>目標 全校又は学年の生徒で協力し、より良い学校生活を築くための体系的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>内容 (1)儀式的行事 入学式 始業式 終業式 修了式 卒業式 着任式 履任式等 (2)文化的行事 文化祭 合唱コンクール 学習発表会 合唱祭等 (3)健康安全・体育的行事 健康診断 薬物乱用防止指導 命の授業 避難訓練 防災訓練 体育祭 球技大会等 (4)旅行・集団宿泊的行事 自然教室 東京校外学習 修学旅行等 (5)勤労生産・奉仕的行事 職場体験活動 全校美化の行事 福祉体験活動 一人ひとりのボランティア等 ◆各行事のねらいを明確にし、全職員が協力で指導、助言する。</p>

学 年	1	2	3
(1)学級や学校における生活づくりへの参画	27	26	27
(2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	6	7	5
(3)一人一人のキャリア形成と自己実現	2	2	3

◆学級活動は年間35単位時間を充てる。(月曜1校時)

1 学年 特別活動年間活動計画

4 月目標				
(1) 学級における自己の役割を正しく認識し責任と意欲をもつ。				
(2) 健康で安全な生活態度を考え、自己の能力、適切などを理解し、それを伸ばそうと努めている。				
(3) JRC加盟式等を通して、ボランティア活動の意義を理解し、自発的な参加意欲をもてる。				
月	特別活動に関わる学校行事	日付	学級活動内容	学級活動内容
4	始業式・入学式	4/5	担任自己紹介・学級経営目標など	4/9 前期学級組織作り⑤
	対面式・生徒会オリ	4/8	前期学級組織作り①	4/12 給食事前指導
	学級組織作り	4/8	前期学級組織作り②	
	JRC加盟式	4/9	前期学級組織作り③	
		4/9	前期学級組織作り④	
5 月目標				
(1) 体育祭の練習に積極的に参加し、学級における自己の役割を認識し責任を果たしている。				
5	梨丘祭 体育祭練習開始	5/13	体育祭事前指導?	
	梨丘祭 体育祭	5/25	体育祭終了後の時間(振返は28火にあり)	
6 月目標				
(1) 学級の当面する諸問題の解決に意欲的に取り組んでいる。				
(2) テストの反省を通して、日頃の学習活動を見直し、計画的に取り組む。				
6	前期中間テスト	6/6	学年裁量	
	生徒総会	6/10	学年裁量	
	修学旅行	6/24	学年裁量	
	県総体壮行会			
7、8 月目標				
(1) 前期前半の反省を通して、学級や学校生活の充実や向上を図るため積極的に貢献する				
(2) 健康で安全な生活態度を考え、自ら身につけようと努める。				
(3) 一人ひとりのボランティアにむけて自分の希望を確認し、進んで活動しようとする意志を養い、育てる。				
7	県総体ブロック大会	7/2	合唱コン選曲	8/26 提出物・宿題回収?
8	夏休み	7/19	学年集会?	
		7/19	夏休みに向けて?	
9 月目標				
(1) 梨丘祭のもつ意義やねらいを理解し、意欲的に参加する。				
(2) エネルギー環境教育講演会への参加を通して、自発的な行動に移すことができる。				
9	市総体	9/20	学年裁量(合唱コン目標作りは9/2月にあり)	
	前期末テスト			
	生徒会役員選挙			
	エネルギー環境教育講演会			
10 月目標				
(1) 前期の反省を通して、規則正しい生活を送り、健康で安全な生活態度を養う。				
(2) 合唱コンクールの中で男女の相違を正しく認識し、男女相互の理解と協力を努めている。				
(3) 半年の学級活動を振り返り、改めて有意義なクラス活動の運営を考える。				
10	市総体	10/4	後期学級組織作り①	
	梨丘祭 文化祭	10/4	後期学級組織作り②	
	梨丘祭 合唱コンクール	10/11	後期学級組織作り③	
	駅伝壮行会	10/22	学年裁量	
11 月目標				
(1) 梨丘祭反省を通して今後の学級の当面する諸問題の解決や学校行事に取り組む。				
(2) ワークショップを通して、エネルギー環境教育についての意識を深める。				
11	後期中間テスト	11/11	学年裁量	11/25 パネル作成③
	環境ワークショップ	11/18	お礼状・パネル作成①	
12 月目標				
(1) 仲間と協力し、環境整備の充実や向上を図るために意欲的に取り組んでいる。				
(2) 環境フォーラムを通して、1年間学んできたエネルギー環境教育を自分なりにまとめることができる。				
12	環境フォーラム	12/4	学年裁量	12/24 学年裁量
		12/16	学年裁量	12/24 学年集会?
1 月目標				
(1) 自己実現にむけて進路、学習に目を向け、意欲を持って取り組んでいる。				
1	自然教室	1/14	自然教室事前指導?	1/20 自然教室の反省?
				1/24 学年裁量
2 月目標				
(1) 自己の能力、適正などを理解し、それを伸ばそうと努めている。				
(2) 学年・学級で協力して自然教室に取り組み、その中で学年・クラスの協力体制を育て、よい思い出をつくらせる。				
2		2/10	学年裁量	
		2/25	後期生徒総会議案書検討	
3 月目標				
(1) 一年間の反省を行い、卒業後に向けての心構え、準備をする。				
3	生徒総会	3/7	三送会関係	
	三送会	3/10	学年裁量	
	卒業式	3/24	学年裁量	
	球技大会	3/25	学年裁量	
	百人一首大会			
	終了式			

川崎市立柘形中学校 総合的な学習の時間構造

第1の目標（学習指導要領）

- ① 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。 **【知識及び技能】**
- ② 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 **【思考力・判断力・表現力等】**
- ③ 探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、お互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 **【学びに向かう力・人間性等】**

柘形中学校 学校教育目標

- ① 学力を高め自ら考え正しい判断ができる人
- ② 美しい豊かな心を持ち思いやりがあり助け合える人
- ③ 責任を重んじ実行力のある人
- ④ 体力を高め健康で自分を大切にできる人

踏まえて

踏まえて

柘形中学校 総合的な学習の時間の目標

「気づき・考え・行動する」を主題として、課題解決の能力を養い「生きる力」を育み、【環境】・【福祉】
【健康】・【キャリア】（学年行事）等についての様々な活動を通して、以下の資質・能力を育成する。

- 気づく** 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、よさや工夫に気づき、人々の努力によって支えられていることに気づく。
- 考える** 探究的な学習を通じ、問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、自らが持っている情報をもとに考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことをまとめ・表現する力を身に付ける。
- 行動する** 探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

全体テーマ

「見つけよう私のSDGs（My SDGs）～気づき・考え・行動できる私を育てよう～」

探究課題		具体的な資質・能力		
キャリア 有り 方 生 き 方 教 育	キャリア学習 他	知識及び技能 他教科及び総合的な探究の時間で習得する知識及び技術が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする。	思考力・判断力 表現力等 探究の過程において発揮され、未知の状態において活用できるものとして身に付けられるようにする。	学びに向かう力 人間性等 自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえる。
	環境学習			
	福祉学習			

活用する

教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力

情報活用能力	言語能力	
探究的な学習の過程においてコンピューターや情報通信ネットワークなど適切かつ効果的に活用して情報を収集・整理・発信するなどの学習活動 (情報や情報手段を主体的に選択し、活用できるように配慮する)	① 他者と協働して課題を解決しようとする学習活動	② 言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動
活用する 考えるための技法 多面的、多角的に見る・具体化する・抽象化する・構造化する 順序付ける・比較する・分類する・関連付ける・理由付ける 等		

【学習活動】	【指導方法】	【指導体制】	【学習の評価】
<ul style="list-style-type: none"> ・地域や生徒の実態を踏まえ、探究課題を設定する。 ・地域の人・もの・ことを生かした学習活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校指導体制の組織強化を図る。 ・学校図書館やパソコン室の利用 タブレットPCの活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況を把握するための評価規準、評価方法を確立させる。 ・個人内評価を重視する。